

第4回遊水地保全・再生及び人々の交流・教育・普及啓発検討合同部会②

(1) 具体的テーマについて

第4回合同部会では第3回に続き、同じメンバーにてワーキンググループ(WG)形式により①「外来種対策」、②「教育・普及のための教材づくり」について討議する。

合同部会全体として③「情報の一元化」について情報提供を行う。

① 「外来種対策」について (WG I)

(1) 第3回合同部会の結果・・・

参考2

- ・外来種対策の事例研究及び渡良瀬遊水地でできることを討議
- ・啓発活動について検討(パンフレット作成等)

(2) 第4回合同部会での検討課題

- 1) 外来種がなぜだめなのか。外来種はどういった影響があるのかを検討
 - ・素人でもわかる外来種対策の必要性について
- 2) すぐにできる外来種対策について
 - ・看板の設置
 - ・各市町での外来種対策について
- 3) パンフレットの作成について・・・

資料2

- ・わかりやすいパンフレットの作成について
- ・パンフレットのレイアウトを決めてそこに掲載する文章等の検討

② 「教育・普及のための教材づくり」について (WG II)

前回WGでは、教育委員会からの意見の他、構成メンバーより意見をいただいた。

(1) 第3回合同部会の結果・・・

参考3

- 1) 教材で取り上げるテーマ
 - ①「渡良瀬遊水地とは…(導入)」
 - ③「渡良瀬遊水地の豊かな自然」
- 2) 対象学年
 - 3、4年生を対象とした内容
- 3) 形式
 - A3二つ折り

(2) 第4回合同部会での検討課題・・・ 資料3-1 資料3-2
市町によっては既に副読本もあることから、今回作成を検討している教材の活用方法について整理し、議論を進めたい。

1) 「授業」での活用にこだわらず、例えば夏休みなどの「自由研究」で、親子で「自ら学ぶ」ための教材として活用してもらってはどうか。

2) 4市2町の学校以外で、渡良瀬遊水地を訪れた人にも幅広く使用してもらってはどうか。渡良瀬遊水地に人を呼び込むきっかけにもなる。

③ 情報の一元化について・・・ 資料4

これまで、情報の一元化についてはアクリメーション振興財団のホームページに掲載するシステム構築を進めてきた。来年度よりシステム運用となる。